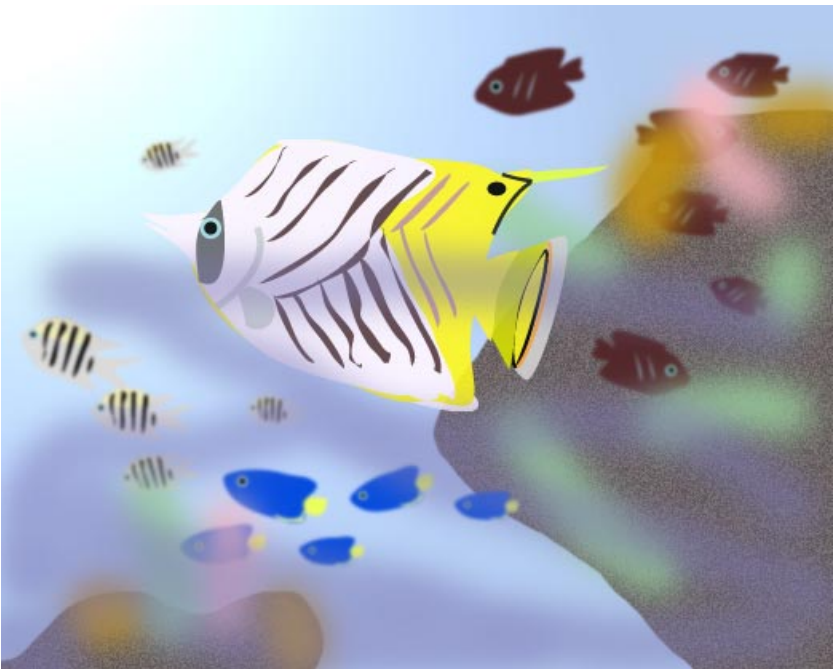


虹の海の童話集

八月の海をのぞいてごらん

ぶん・え プアマリナ 1998年8月



水族館すいぞくかんで見たようなお魚さんでした。

八月の海つみ。人でいっぱいうみのビーチから
ちょっとはなれた海の中を、まっ黒に日
やけたほのちゃんはそーっとのぞいて
みました。

このあたりは静しずかで、お魚さんたちが
たくさん泳およいでいます。

「カニさん、こんこにちは。ヤドカリさん、
こんにちは。お魚おいさん、ごきげんよう。」
にぎやかなおともだちにあいさつをし
ていたほのちゃんが、思わずハッと息を
のみました。

とてもきれいなお魚さんを見つけたか
らです。

白や黄色でヒラヒラ泳ぐ、いつか

「パパー。」

ほのちゃんの大おお声こゑにウニさんやヒトデさんたちがおどろいて大さわぎしていま
す。

砂浜では、一ばんまっ黒なパパがニコニコ笑わっていました。いっしょうけんめ
いお話しするとニコニコしながらうなずいています。

「それはね、きつとチヨウウチヨウウオの仲間なかまだよ。南みなみの海うみからやってきたんだ。」

「南の海から？ 遠おといとこるなの？」

「そっそっそよ。南の海にはきれいなサンゴさんごじょうじょうがあるの。」

そっそっそ言ったのは、まっ白しろい顔かほのママ。

「サンゴさんごじょうじょうって？」

「海うみの中なかにね、お花畑はなはたけが広がひろががっているのよ。」

だからちよちよちよちよががいるのね。やっぱりパパとママはなんでも知しってる。

でもほのちゃんには、パパにもママにもないしょのひみつが一つだけありまし
た。

「チヨウチヨウウオさん、こんにちは。」「じにはお花畑はなはたけがなくてさみしいかしら。」

なんとほのちゃんは、お魚さかなさんとお話わしができるんです。

「じもそんなに悪わるくはないさ。ともだちもたくさんいるからね。」

よく見ると、あっちにもこっちにも白や黄色のお魚さんがたくさんいます。みんな楽しそうにヒラヒラ海うみの中を飛び回まわっていました。

九月はあらしが来たし、十月はパパの仕事ひいしがいそがしくて、せっかく仲よくなれたチヨウチヨウウオさんたちに会えませんでした。

十一月。ひさしぶりにほのちゃんはあの海にやって来ました。

もうすっかり日やけのあともなくなっています。

「チヨウチヨウウオさん、こんにちは。お元気だった？」

「こんにちは。ちょっとさむくってね。かぜをひきそうなんだ。」

そう言われればみんな元気がありません。

「そうね。」「じはさむいから、まだお花はなが咲さいているところに帰かえった方がいいわよ。」

みんなに会えなくなるのはさみしかったけど、ほのちゃんがそう言いつとチヨウチヨウウオさんは弱よわ々よわしく笑わらいました。

十二月に、ほのちゃんはまた海にやって来ました。

ほのちゃんの顔かおの色のよくなこの冬はじめての雪ゆきがこの辺りにもふついています。

チヨウチヨウウオさんはまだいました。でもあの夏なつのような元気がぜんぜんありません。

「やあ。君が来るのを待ってたんだ。」

めずらしく今日は、チヨウチヨウウオさんの方から話しかけてきました。

「まだいたの。早くお花畑に帰った方がいいわよ。だって雪がふってるもの。」「チヨウチヨウウオさんは力なく笑いました。

「ぼくたちは、もう帰れないんだ。君にさよならを言おうと思っおもって待まちってたんだ。」

ほのちゃんには、やっとわかりました。チヨウチヨウオさんたちは南からの波に乗ってやってきて、二度と帰ることができずに冬になると死んでしまう悲しいお魚さんたちだったのです。

その夜、ほのちゃんは声を上げて泣きました。

あんまり泣いたので、花もようのまくらに海ができてしまいました。

夢の中ではその海のお花畑を、チヨウチヨウオさんたちが元気に飛び回っています。

次の日、ほのちゃんは大きな大きな水とつに熱いお湯をたんまり入れてもらいました。

「これで海をあっためてあげれば、チヨウチヨウオさんたちもきっと冬をこせるわ。」

パパもママもニッコリうなずきました。

次の年の八月、パパよりもまっ黒になったほのちゃんは、またあの海に来ていきます。



前の年と同じようにチヨウチヨウオさんたちがたくさんいました。

みんなの中で一ばん大きなチヨウチヨウオさんがやってきました。少しお姉さんになったほのちゃんはお魚さんたちとは、もうお話しができなくなっていました。

でもそのチヨウチヨウオさんは、ほのちゃんにむかって、ありがとうと言ったように見えました。

きっとあのチヨウチヨウオさんに違いないと、ほのちゃんはニッコリ笑いました。

お話の背景 はなし はいけい

「父兄の方に知っておいてほしいこと」

このお話は死滅回遊魚または無効分散魚といわれる熱帯海水魚を題材にしたものがたりです。しめつかいゆうぎょ ねったいかいすいぎょ だいいがい

日本列島沿岸（特に太平洋側）には黒潮が南の海から流れてきます。にほんせいしゅう たいへいようがわ くろしお みなみ うみ

その潮に流されて南の島（特に沖縄近辺）から、たくさんのお熱帯魚の子供たちが本州にもやってきます。ほんしゅう おきなわきんぺん

もちろん、大阪湾や浜名湖や東京湾でも、こういった魚を見ることができません。おおさかわん はまなこ とうきょうわん

これらの魚たちは、水温の低下に弱く、初夏に南からやってきて一夏をすぎますが、本州の冬の寒さにはたえきれずに次の春までにほとんどが死んでしまいます。すいおん ていか しよか ひつなつ

ですから、この魚たちを死滅回遊魚と呼んだり、繁殖を行わない無効な魚という意味で無効分散魚と呼ばれる方をしているのです。はんしよく

この悲しいさだめをおった魚たちですが、地球の温暖化などの影響なのか、最近ではかなりの数の越冬の報告がきかれるようになりました。かな えつごう ほほう

喜んでいいことなのかどうか複雑な心境ですが、これほどまでに自然に恵まれた日本という国をほこりに思っていることだけはたしかです。こころざし じぜん

虹の海の童話集

八月の海をのぞいてごらん

ご意見は、Web版「虹の海の童話集」
<http://www.mars.dti.ne.jp/gec/fairy>
またはE-Mail
gec@mars.dti.ne.jp
まで